東京に残る大自然×ふるさと納税！「学びと経済の循環型スポーツを推進するまち"おうめ"」

スポまち！表彰2026
⑫東京都青梅市

＜目標＞　　計画期間：～令和16年３月31日

青梅らしいスポーツ体験・学びの機会を通じて、スポーツ実施率やふるさと納税額UP！

【KPI】・事業延参加者数　150人(R10) → 200人(R11) → 300人(R16)
・市民スポーツ実施率　50.0%(R10) → 55.0%(R11) → 70.0%(R16)
・青梅市ふるさと納税額　60,000千円(R10) → 62,000千円(R11) → 70,000千円(R16)

＜ＰＲポイント＞

都心から１時間という立地と自然を生かしたスポーツ体験をふるさと納税でパッケージ化して発信！

①青梅市を走る"多摩川"を活用したリバースポーツ体験事業を実施し、豊かな自然・川での安全について学びながら、青梅らしいスポーツの充実を！
②青梅市にひろがる"森林"を活用したスポーツ体験事業を実施し、森林活用について学びながら、誰でも楽しむことができるスポーツの充実を！
➡上記スポーツ体験に青梅での宿泊を一体化させ、ふるさと納税返礼品としてパッケージ化して提供し、経済的な循環のあるスポーツの充実へ！

〈現状・課題〉

都心へのアクセスが便利な立地にあり、豊かな自然資源を有していることから、その特徴を活かしたスポーツまちづくりが必要！

①美しい自然環境を多様な主体による様々な活動によって保全するとともに、しっかりとした安全管理を行い、スポーツを含めたあらゆる分野での活用を図っていくことが必要
②地域産業や観光資源の強みを生かすとともに、多様な連携により新たな価値を生み出し、それらを発信していくことで、まちに活力と賑わいを創出していくことが必要
③生涯学習としてのスポーツに加え、経済的な循環が生まれるスポーツの"産業化"を目指してしていくことが必要

〈総合的な取組内容〉

東京都心では味わえないスポーツ体験事業を実施し、ふるさと納税の枠組みでパッケージ化して提供します！



①多摩川で学び、楽しむカヌー体験教室
〇実際の多摩川で水に触れながら、その危険性についても学んでいく
〇都心から１時間という好立地を活かし、市外からの参加者も受け入れられるように
〇オリンピアンなど、市民アスリートの協力も得ながら、スポーツと自然の魅力を発信

②間伐～加工まで！青梅の森林を学びながらつくるマイモルック教室
〇実際に森に行き、間伐から体験することで、自然に直接触れて学ぶ機会を確保
〇自分たちでモルックをつくることで、スポーツへの興味・関心アップ
〇障害の有無にかかわらず、家族や仲間と誰でも楽しめるスポーツ

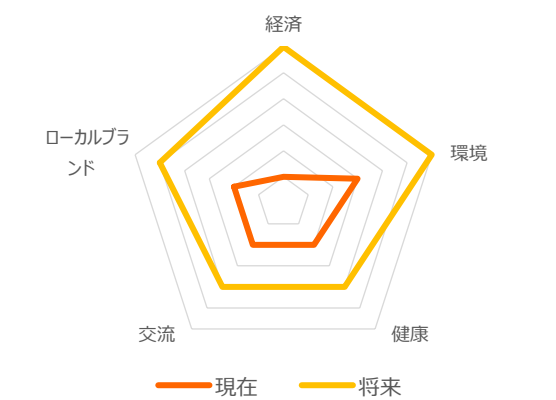
➡これらの体験に青梅市内での宿泊を一体化させ、ふるさと納税の返礼品として提供！今後は他のスポーツ体験もメニュー化し、さらなる循環を！

【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号
東京都青梅市教育委員会生涯学習部スポーツ推進課
TEL0428-22-1111